

研究番号 1936号 承認日 2024年3月28日
研究実施予定期間 承認日～2025年1月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	「救急看護師の自律性を高める現任教育プログラムの検討」 ～急性・重症患者看護専門看護師の教育役割の活用～	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場 合には品名と一般名も記載)	本研究の目的は、救急看護師の自律性を高めるリフレクションを基盤とした現任教育プログラムを実施し、その効果を検証することである。研究デザインは便宜的サンプリングによる準実験研究デザインにより多施設共同研究として実施する。研究対象者は介入・コントロール群各 30名とする。全3回のプログラムに参加する介入群と、無記名自記式質問紙調査のみに協力するコントロール群に無作為に割り付ける。効果は教育プログラム開始前後に「救急看護師の自律性尺度」と初回のみ個人属性（性別・年齢・救急看護経験年数・看護経験年数）をWEB調査し、介入群のみ全プログラム終了後にインタビューを行い、介入後の変化を検討する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	池邊 美佳・看護管理室・看護部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	大江 理英・看護管理室付・非常勤看護師・大阪警察病院 八木 彩子・看護部・看護師・大阪急性期・総合医療センター 豊島 美樹・看護部・看護師・大阪市立総合医療センター	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	<介入について> <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input type="checkbox"/> 介入を伴わない研究（観察研究）	<インフォームド・コンセント（アセント）について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規（取得試料・情報の利用） <input type="checkbox"/> 既存（取得試料・情報の利用） <input type="checkbox"/> 既存（残余検体の利用） 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年（提供元の場合） <input type="checkbox"/> 5年（提供先の場合） <input checked="" type="checkbox"/> 10年（科研研究のため）	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 （ ） ・監査実施者 （ ） <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり （具体的な管理方法について：対応表のデータはパスワードを設定し、セキュリティ機能が付いたUSBに保存する。研究終了後は研究代表者の勤務する大学研究室のカギのかかる書棚に他のデータとは別に保存する。） <input type="checkbox"/> なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	研究協力者は関西にある救命救急センター3施設に勤務する20歳代の救急看護経験3～8年目の救急看護師とする。研究責任者が所属する研究実施施設の研究倫理委員会より倫理審査承認を得た後から、 2025年3月まで とする。	

7. 問合せ先	<p>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科： <u>看護部</u> 担当者： <u>(氏名) 大江 理英</u> (職名) <u>非常勤看護師</u> 連絡先： 06-6771-6051 (内線：)</p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>
---------	---

情報公開文書

1. 研究課題名	心臓血管外科術後在院日数短縮のための地域連携パス効果の検証
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場 合には品名と一般名も記載)	<p>2023年10月より「心臓血管外科術後地域連携パス」の運用を開始した。目的は、術後10日目のリハビリ転院を行い在院日数の短縮化を行うことによる心臓血管外科診療の効率化と急性期病床の有効活用である。背景として、高齢患者が増加し治療が終了してもリハビリが進まず退院延期や転院調整に時間がかかっており、業務過多となっていた経緯がある。</p> <p>現在、心臓リハビリが実施可能な5施設（愛染橋病院・朋愛病院・思温病院・貴島病院・牧病院）に連携病院としてご賛同いただいている。地域連携パスの流れとしては、①外来受診時に、該当患者に心臓血管外科医師からリハビリ転院のチラシ（連携病院のQRコード入り）をお渡しする。②入院時に診療看護師が詳細説明し同意を取得、希望病院をお伺いしMSWに連絡③手術当日、家族の待機時間を利用しMSWが連携病院について説明、患者背景を聴取。④術後2～3日目の状態を見て連携病院に1回目のパスシート（診療情報提供書と看護サマリー、リハビリサマリーが一緒になったもの：医師欄は診療看護師が記載）を送信。⑤術後10日目頃のリハビリ転院を調整する。（転院日前に最終パスシートの送信を行う。※この時点で担当医が診療情報提供書を最終更新）である。</p> <p>これまでは、術後検査が良好であることを確認した上でリハビリ転院を家族に打診していたが、地域連携パスを円滑に進めることにより在院日数の短縮化と業務効率化が可能になると想定している。なお、新しい取り組みであるため、パスを使用する患者選定について、心臓血管外科急性期患者に慣れていない連携病院看護師が受け入れやすいであろう「予定入院の経過順調な患者。転院時に病棟内歩行は自立しているが、自宅退院は難しい患者」とした。</p> <p>2023年10月～12月の簡易集計データではパス使用12例であった。緊急症例と追加治療（ペースメーカー）が必要となったものを除く10例の平均は術後10.7日での転院であった。また、連携病院へのパスを使用しない転院が増加となり、通常の転院調整にも何らかのプラスの影響があるのではないかと考えておりデータ分析を実施予定としている。</p> <p>2024年3月に連携5病院との地域連携パス運用会議を予定しているが、今後の円滑な運用に向けて事前アンケートを行い、改善点を抽出しパス運用のアップデートを行う予定である。</p> <p>上記内容について、現在自身が在籍している関西大学大学院経営戦略研究科経営戦略専攻の課題研究（2024年秋）のテーマとしたいと考え</p>

	ている。過去とこれからの心臓血管外科全体の退院患者データ（疾患名、術式、退院日、転院調整に関わる各種日数）と連携病院へのアンケートデータが分析に必要である。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	坂口 詩織・看護部（診療科出向）・診療看護師・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	同上	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究（観察研究）	〈インフォームド・コンセント（アセント）について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規（取得試料・情報の利用） <input checked="" type="checkbox"/> 既存（取得試料・情報の利用） <input type="checkbox"/> 既存（残余検体の利用） 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年（提供元の場合） <input type="checkbox"/> 5年（提供先の場合）	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 （ ） ・監査実施者 （ ） <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり（具体的な管理方法について： ） <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	・実施承認後 ～ 西暦 2025 年 1 月 31 日	
7. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科： <u>看護部</u> 担当者： <u>(氏名) 坂口 詩織</u> (職名) <u>診療看護師</u> 連絡先： 06-6771-6051（内線： ） 本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 1478号 承認日 2021年12月17日

研究実施予定期間 承認日 ~

情報公開文書

1. 研究課題名	深層学習を用いた看護記録自動監査の試み	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合 には品名と一般名も記載)	<p>電子カルテシステムの普及によって診療記録・看護記録は即時に共有されるようになり、多職種での情報共有に基づいた医療サービスの質の向上が期待されている。特に、「看護記録」については、日本看護協会の看護業務基準における定義として「看護実践の一連の過程を記録したものであり、この記録は看護師の思考と行為を示すもの」とされており、自身が実践したことや患者の個別性にあわせたケア内容や手順、治療やケア実施時とその後の反応などの看護実践の結果について詳細に記載する。しかし、看護記録の多くは叙述的に記載されており、記録内容そのものを確認し監査するためには、基本的には人間の目で閲覧する必要がある。そこで診療記録のすべてを参照することなく、システムで1次的に目的の記録を抽出し、2次的にヒトが確認することによって監査を支援することが可能となる。</p> <p>近年、自然言語処理および機械学習のツールの開発が進み、精度が向上し医療分野においても利用されており、この看護記録の監査を自動化する判別システムの構築を試みる。</p>	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	岸本 和昌 (先制医療生活習慣病研究センター・特定助教・京都大学医学部附属病院)	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	阪本 恭子 (看護部管理室・看護師・大阪警察病院)	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント)について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	2018年3月に電子カルテシステムの経過記録であるSOAP記載欄に看護師・助産師が記載した経過記録	
7. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31	

診療科：看護部管理室
担当者：(氏名) 阪本 恭子 (職名) 看護師
連絡先：06-6771-6051（内線： ）

本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。